

大阪府立泉北高校との意見交換会の実施結果について

1. 実施概要

(1) 目的

2050年（30年後）に社会の中核を担う立場になっている高校生の率直なご意見を伺い、環境戦略策定にあたっての参考とする。

(2) 実施期間・場所

令和2年9月15日（火）16時から18時30分

大阪府立泉北高校

(3) 参加者

泉北高校生 18名、堺市環境局職員 3名

(4) 実施内容

2050年の堺の環境の将来像（どのような環境になってほしいか、なってほしくないか）について、意見を伺ったのち、望ましい将来像を実現するための取組について、グループディスカッションを行った。



<ディスカッションの様子>

2. 実施結果

①2050年の堺の環境の将来像に係る意見

(ポジティブ意見)

- ・地域（隣人間）のコミュニケーションが盛んである。
- ・まち全体が挨拶であふれている。
- ・災害時に情報の交換・助け合いが地域でできる。
- ・ICT等の技術が発達しつつ、緑もある。
- ・医療技術と福祉が向上している。
- ・自転車道の整備が充実し、自転車が走りやすい。
- ・太陽光パネルを活用し、夜に自転車道が光る等、夜間でも自転車移動がしやすい。
- ・歩道、自転車道、車道の道幅を幅広くとってほしい。
- ・幸せを感じている子どもが多い。
- ・政治に興味を持つ人が多い。
- ・ステイホーム（自宅学習）が主流である。
- ・高齢者が長生きしたいと思っている。
- ・食品ロスがない。

- ・プラスチックを 100%適切にリサイクルできる（燃やさない、ポイ捨てしない）。
- ・ウォータースタンドが手軽に利用できる。
- ・リサイクルする等、環境行動を実施することで、その対価をもらえる。
- ・プラスチックに代わる環境にやさしい新素材が開発されている。
- ・バイオマス資源の活用が増えている。
- ・外国人が違和感なく生活できるまち。

(ネガティブ意見)

- ・水素ステーションが少ない。
- ・レンタルサイクルの取組はいいが、知らない人が多い。
- ・レンタルサイクルについて、電動自転車にしてもらわないと泉北ニュータウンには不向きである。
- ・交通機関等の標記を外国人に分かりやすくしてほしい。
- ・人口が減少し、インフラの整備ができない。
- ・公園等、維持ができなくなり、危険な場所が増える。
- ・ポイ捨てが多い。

(その他)

- ・高額な太陽光パネル、蓄電池を設置する際に補助金を出しているが、少額すぎて意味がないように思う。
- ・自宅で授業が受けられるよう、高校生にも Wi-Fi ルーターを貸与してほしい。

② 将来像を実現するための取組に係るグループディスカッション

「ゼロカーボン」「海洋プラスチック問題の解決」「緑あふれるまち」を実現するため、3 班に分かれてグループディスカッションを実施した。

(ゼロカーボンの実現に向けて)

- ・自動車から自転車への転換をめざす。
- ・自転車通学の際、道がぼこぼこで特に雨の日は危険を感じるので、電動自転車への補助金よりも、道路の整備が重要である。
- ・自転車道を整備する。
- ・予算は今ある予算の見直しを行う。

(海洋プラスチック問題の解決に向けて)

- ・海洋プラスチックの発生源、原因が解明されていない現状、その調査が必要である。
- ・コンビニなど、急に行くことが多いので、エコバックをレンタルできる仕組みを導入する。

(緑あふれるまち)

- ・まちの至る所にレモンの木を植え、緑を増やす（エディブルガーデン）。
- ・地域住民がレモンを食べ、その維持を行う。
- ・維持費の削減にも繋がる。